

令和5年度の重点課題

○新体カテストの総合評価のAB率 61.9%、DE率 14.3%である。（(AB-DE)率47.6%）

○男子

・「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。

・「運動やスポーツをすることが好きですか。」の問いに対して、「やや嫌い」「嫌い」と答えた児童が17.65%いる。

○女子

・「反復横跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。

・「運動やスポーツをすることが好きですか。」の問いに対して、「嫌い」と答えた児童が11.11%いる。

○全体

・男女ともに「反復横跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。

・「運動やスポーツをすることが好きですか。」の問いに対して、「嫌い」と答えた児童が11%以上いる。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○学期に1度「生活強化週間」を設けて、早寝早起きやバランスの取れた朝食を食べたかをチェックすることで、自分の生活をふり返り、基本的な生活習慣を身に付けることができているか確認した。

○12月に行う「マラソン大会」に向けて、練習に取り組ませながら自分で目標を設定し、達成できるように走り方やペースを考えて走るように指導した。

○1月～2月にかけて尾道市全体で行った「なわとび大会」に参加し、2分間の間にたくさん跳べるように目標を立て、練習に取り組むことで体力の向上を図った。

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.60	17.80	34.27	30.87	40.47	9.44	137.07	19.73	47.87	第5学年	16.44	18.69	42.50	37.00	42.94	9.56	137.00	14.88	56.19

県平均値かつ全国平均値未満

令和6年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.60	17.80	34.27	30.87	40.47	9.44	137.07	19.73	47.87	第5学年	16.44	18.69	42.50	37.00	42.94	9.56	137.00	14.88	56.19

県平均値かつ全国平均値未満

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値（R6）及び全国平均値（R5）を記入し、比較を行います。

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	73.33	20.00	6.67	0.00	第5学年	75.00	18.75	6.25	0.00

学校独自の意識調査

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第1学年	100%	0%	0%	0%	第1学年	50%	33%	17%	0%
第2学年	78%	22%	0%	0%	第2学年	86%	14%	0%	0%
第3学年	80%	10%	0%	10%	第3学年	69%	13%	6%	13%
第4学年	67%	25%	8%	0%	第4学年	82%	9%	9%	0%
第5学年	73%	20%	7%	0%	第5学年	75%	19%	6%	0%
第6学年	78%	17%	6%	0%	第6学年	67%	33%	0%	0%
学校全体	94.9%		5.1%		学校全体	91.5%		8.5%	

重点課題

情意面での課題

○男子  
・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合が6.67%である。（前年比10.98%減少）  
○女子  
・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合が6.25%である。（前年比4.86%減少）  
○全体  
・経年比較すると、中学年高学年と学年が上るにつれ、「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童が増加傾向にある。

体力面での課題

○新体カテストの総合評価のAB率32.3%、DE率38.7%である。（(AB-DE)率-6.5%）  
○男子  
・全種目において、県平均かつ全国平均より低い。  
○女子  
・「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。  
○全体  
・男女ともに「反復横跳び」、「立ち幅跳び」において、県平均かつ全国平均より低い。

令和7年度の重点目標値

○新体カテストの総合評価の(AB-DE)率を-5%以上にする。

○「反復横跳び」の記録を、県平均かつ全国平均より高くする。

○運動やスポーツが「好き」、「やや好き」と肯定的に評価した児童を男女ともに90%以上にする。また、「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合を5%以下にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備運動の中で、主運動につながる動きを取り入れたり、導入の時間に鬼ごっこなどを行ったりする。  
○体育カードを活用して、児童自身に目標をもって授業に取り組ませ、授業の最後や授業後に振り返りを行うことで、活動を自己評価するとともに、次回以降の活動に活かせるようにする。また学習評価としても活用し、児童に還元する。  
○校内研修を行いながら授業改善に取り組んだり、ゲストティーチャーを招聘して専門的な指導を受けさせたりすることで、児童が「体を動かすことが楽しい」と感じられるようにしていく。

体育の授業以外で行う取組内容

○外遊びを推奨し、熱中症に気を付けながら、委員会や教師が外で体を動かすように声かけを行う。休憩時間など、多くの児童を誘って運動を楽しむ活動を行う。（ドッジボール・鬼ごっこ・なわとび等）  
○「マラソン大会」に向けて、目標を設定させて練習に取り組ませ、達成できるように走り方を指導したり、尾道市の「なわとび大会」に参加し、2分間にたくさん跳べるように目標を立てさせ、練習に取り組ませたりすることで体力の向上を図る。  
○学期に1回の「生活強化週間」に生活習慣について振り返らせるとともに、家庭でできる体力づくり運動について紹介し、取り組むように指導する。